

「自己肯定感が高まる学級づくり」 ～自己開示と対話を促す実践を通して～

1. 主題設定の理由

現代は社会の多様化や ICT の進展により、子どもたちの人間関係や自己理解に変化が見られ、協働して課題を解決する力や「自己肯定感」の育成が一層重要になっている。『千葉県教育振興基本計画』(令和 2 年)でも、他者とのつながりを通して自己肯定感を高める取組が求められている。本学級ではクラス替え直後で人間関係が不安定であり、ネガティブな発言や一部児童だけが活動に積極的な様子が見られ、学級の一体感が乏しかった。そこで全児童が思いや考えを表し、仲間の良さに気づく経験を重ねることが必要と考えた。本研究では『グッド&ニュー』『すてきカード』『クラス会議』を柱に、自己開示と対話の機会を意図的に設けることで、安心できる秩序ある学級づくりを目指す。

2. 研究の仮説

学級活動において、自己開示の場を設定し、対話と合意形成のある学級会を継続して実践することを通して、自己肯定感を高めることができるだろう。

3. 研究の内容

① グッド&ニュー(朝の会)

毎朝の朝の会で「グッド&ニュー」を実施し、児童が安心して自分の気持ちや体験を語り、仲間と共有する場をつくった。導入時は担任が率先して自己開示を行い、児童の安心感を

高めた。活動の継続により、児童同士が共感し合う場面や、自分の感情に気づき表現する力が育まれた。アンケート結果からも「自分の話をしても安心」と感じる児童が多数で、普段発言の少ない児童にも変化が見られ、安心して自己開示できる風土が少しずつ形成されていることがわかった。

② すてきカード

席替えの際、1ヶ月間隣で過ごした友達の良いところを「すてきカード」に3つ書いて渡す活動を行った。活動を重ねる中で、児童は日常の行動や価値に目を向け、感謝や称賛の言葉で関係を築くようになった。これにより「自分も役に立てる」「価値がある」という感覚が育ち、他者理解とともに自己肯定感の高まりが見られた。

③ クラス会議(学級会活動)

クラス会議は学級の課題を話し合い、解決策を自分たちで決める活動。役割を立候補で進め、主体性や協働性を育んだ。発言が増え、会議で決めたことを実行する声も出た。冒頭のハッピーサンキューナイスで温かな雰囲気をつくり、安心して意見を出し合う場となり、児童の自己決定感や自己有用感を高める経験となった。

4. 結論

- ・自己開示の場を設け、安心して話せる教室づくりを進めたことで、自己開示を楽しむ児童や苦手だった児童の変容が見られた。
- ・『クラス会議』では、自己開示後に議題を話し合うことで活発な意見交換に繋がり、継続的な活動が自己肯定感の向上に寄与した。
- ・『すてきカード』では、他者理解だけでなく、自分の良さの再認識にも繋がった。

1.研究主題

自己肯定感が高まる学級づくり ～自己開示と対話を促す実践を通して～

2.主題設定の理由

現代は、社会の多様化やコロナ禍における ICT の進展により、子どもたちの人間関係や自己理解に変化が生じている。こうした中で、他者と協働しながら課題を解決する力や、自分の存在を前向きに受け止める「自己肯定感」の育成が、これまで以上に重要視されている。

千葉県の『第3期千葉県教育振興基本計画』(令和2年)では、子ども達に自己肯定感を育むことは、これからの時代に求められる資質・能力を育むうえでとても重要なものとして挙げられている。そして、「他者とのよりよい「つながり」を通して、子供たちの自己肯定感を高める取り組みを進める必要があります。」と述べられていることから自分の良さや価値を実感できる教育活動の充実が求められている。

本研究の対象である本学級では、クラス替え直後ということもあり、人間関係が不安定であった。ネガティブな発言が目立ち、一部の児童だけが活動に積極的で、学級全体としての一体感や安心感が乏しい状態であった。こうした実態をふまえ、すべての児童が自分の思いや考えを表出し、仲間のよさに気づき、共に考える経験を日常の中に積み重ねられるようにする必要があると感じた。そこで本研究では、『グッド&ニュー(朝の会)』、『すてきカード』、『クラス会議(学級会活動)』という3つの柱をもとに、児童の自己肯定感を育み、自己開示・自己決定の機会を意図的に設けることで、安心できる秩序ある学級づくりを目指すこととした。

3.研究の目標

学級活動において、自己開示の機会や学級づくりの対話実践を通して、自己肯定感を高めることができるかを検証する。

4.研究の仮説

学級活動において、自己開示の場を設定し、対話と合意形成のある学級会を継続して実践することを通して、自己肯定感を高めることができるだろう。

5.研究の方法

本研究において自己肯定感とは、『ありのままの自分を肯定する感覚』であると定義する。自己肯定感とは、学習意欲や協働性、挑戦する力とも関わっており、児童の健やかな成長の基盤となる。

近年、自己肯定感の低さは日本の子どもたちに共通する課題として指摘されており、文部科学省の教育再生実行会議や、『千葉県教育振興基本計画』でも向上の必要性が強調されている。子どもたちが「自分は大切な存在だ」と「自分にはできることがある」と実感することが、将来の学びや人間関係の基礎となるとされている。

本研究では、児童の具体的な行動として、「自分の事を進んで話すこと」や「友達の発言を肯定的に聞くこと」を大切に、自己開示ができる環境を作る。それにより、自分のよさに気づくことが自己肯定感の高まりにつながる。この際に重要な自己開示に関しては、「自分はこう思う」「こんな経験をした」と安心して話せることとする。そのため、「聞き手」の重要性を繰り返し語り、受容的な聞き方（傾き、相槌、拍手）を例示していく。そして、話し手が「何を話しても良い。」と安心して自己開示ができるようにする。実際には、『グッド&ニュー』、『すてきカード』、『クラス会議』の3つの手立てを通して、自己肯定感の変容を支援する。

以下の3つの手立てを、日常の学級経営の中に継続的に取り入れていく。

- グッド&ニュー・・・1日の中であった良いことや気づきを話す。自己開示の場。
- すてきカード・・・友達の良いところを見つけ伝える。
- クラス会議・・・クラス全員で円を作り、課題の解決策を話し合う。学級会活動。

- (1)グッド&ニュー：毎朝の会で、一人ひとりが良かったことや新しく気づいたことを話す活動。
自分の思いを安心して話せる「自己開示の場」として機能させることで、承認的な人間関係の基盤を育てる。
- (2)すてきカード：日常の中で隣の席の仲間の良さを見つけて、カードに書いて渡すことを通じて共有する活動。児童が他者を認める体験を通じて、自分の価値にも気づいていくことをねらう。
- (3)クラス会議：児童が話し合いを通して自分の意見を出し、相手の考えを認め合う場とする。
話し合いのテーマは、日々の生活の中で出た課題や、よりよい学級づくりに関することを中心とし、自己決定・自己実現・貢献の機会を保障する。

これらの活動は、自己表現・相互承認・挑戦する力を育む場であり、児童が「自分は受け入れられている」「貢献できている」と実感するきっかけになると考える。

そして、児童の自己肯定感の高まりに注目し、アンケート調査と観察記録をもとに、定性的・定量的に児童の変容を捉える。具体的には、アンケート項目「自分のよいところを見つけられる」「自分のことが好きだと思う」「失敗してもやり直そうと思える」「みんなの中で自分は大切な人間だと思う」などを用いて、学期初期と中期に計2回実施し、変容を比較する。また、感想や観察記録を通じて、児童の発言や行動から、自己肯定感に関連する言動を分析する。

6.研究の概要

(1)本学級児童の傾向

本学級は、3年生男子13人、女子15人、情緒学級交流児童2人の計30人の学級である。4月当初はクラス替え直後ということもあり、児童同士の関係づくりが不安定であり、「先生、こ

れはどうしたら良いですか。」「これであっていますか。」「など、自分がすることを教師に一つ一つ確認しないと安心できないという様子が見られた。アンケート結果から、「今の自分が好きだ」「むずかしいことでも、失敗をおそれないでしようせんする」といった項目に肯定的回答が少ない傾向が見られた。実際の学級場面でも、自己開示が苦手な児童や、活動に消極的な児童の姿が見られた。

	とても当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	ほとんど当てはまらない
自分に対して自信をもっている	11	12	4	0
今の自分が好きだ	11	7	5	4
こまった時でも前向きに取り組む	9	10	8	0
自分には良いところがある	18	7	1	1
むずかしいことでも、失敗をおそれないでしようせんする	9	9	9	0
自分はいろいろなことができる	13	7	5	2

自分のことアンケート

(令和7年度5月20日実施 27/30名実施)

(2) 研究実践の分析と考察

①グッド&ニュー(朝の会)

朝の会に「グッド&ニュー」を取り入れ、児童が安心して自分の気持ちや体験を言葉にし、仲間と共有できる環境づくりを目指してきた。毎朝、4～5名の生活班で1分30秒間、1日(24時間以内)にあった「良かったこと」「新しく気づいたこと」などを語り、それに対して仲間が拍手や肯定的な反応を返すことで、相互承認の土台を育てるものである。

○活動導入時の手立て

導入日(5月28日)の前日の朝の会で、事前告知とグッド&ニューの説明を行い、児童に意識づけを行った。目的は、「相手に自分のことを知ってもらうこと」「自分が相手のことを知ること」そのために行うことを伝えた。そして、話を聞く際は、相手に体を向けて、拍手や頷きの反応を示すなど話の聞き手が大事であることを伝えた。当初は「何を話したらよいかわからない」「恥ずかしい」といった様子で、パスをする児童が各グループに1、2名はいた。そこで、安心感をもたせるために「パスはしても大丈夫。」と伝え見守った。児童も1分30秒の中で2周目、3周目と言える児童は回数を重ねていった。活動の始めには、担任が自身の1日の中であった、良かったことや新しく気付いたことを紹介した。そして、活動の終わりには、児童の発言を取り上げ紹介した。毎日、継続する中で「〇〇さんと遊んで楽しかった」「夕飯で食べたハンバーグが美味しかった」など、自分の感情に気づき、それを伝える力が育ち始めた。また、他者の発言を聞いた児童が「同じゲーム好きなんだ」「昨日食べたものうらやましい」など共感を返す姿も多く見られ、活動を通して児童相互の理解が進んでいる。

○活動開始初期～2ヶ月までの動き

担任がまずは、「自己開示をする」姿勢を示した。冒頭にエピソードを話してから、児童の活動につなげた。そうすることで、児童も安心して話すことができたという点は、信頼関係の醸成における重要な要素であると考えられる。また、グッド&ニューは、話す児童にとっての「自己開示の場」として機能するだけでなく、クラス全体に温かく穏やかな雰囲気をもたらす「場の空気づくり」にも寄与している。

■アンケートによる児童の変容の一端

実施3週間後(6月16日)に1回目、1ヶ月半後(7月10日)2回目のアンケートを実施したところ、以下のような傾向が見られた。(27名/30名実施)

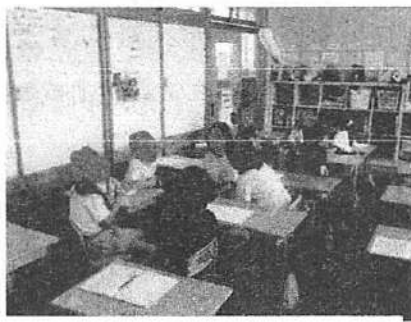
- 「自分の話をすることができている」: 肯定的回答が増えた(20名→23名)
- 「自分のことを話すのが楽しいと感じる」: 肯定的回答が微増(23名→25名)
- 「自分の話をしても安心だと思う」: 肯定的回答が多数(1回目: 24名、2回目: 23名)

これらの結果は、児童の中に「自分の話を安心して話すこと」が少しずつ根づきつつある様子を示している。

実際、普段の授業では発言の少ない児童も話をしていたり、活動初期はパスをしていた児童も自己開示をしたりするようになった。「自分の話を聞いてもらえている」と感じる経験ができてきていることが観察された。



グッド&ニュー時の体形



話を聞いている様子



肯定的に聞いている様子

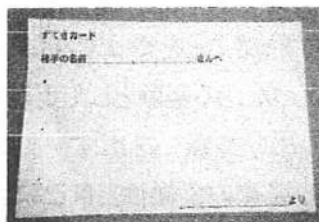
○グッド&ニュー活動のさらなる充実

『グッド&ニュー』を継続していく中で、あった出来事を伝えるだけの時間になったり、反応もあまりなかったりする等マンネリ化が見られた。また、新しく気づいた事の紹介がほとんど見られなかった。そこで、活動の最後に、他者との関わりで良かった事を述べている児童や図鑑を読んで知った事を気づきとして話している児童を紹介した。

②すてきカード

本実践は、日常生活の中で児童が互いの良さに気づき、それを言葉にして伝え合う活動である。月に1回行う席替えの際に、「すてきカード」に、1ヶ月間隣の席で過ごした友達の良いところを3つ書いて渡している。(今度は2回実施と少ないため、昨年度の5回実施の内容も取り上げている。)

＊昨年度は、4年生で実施。昨年度学級は、男子15人、女子12人、計27人の学級である。



すてきカード



カードを渡す様子



カードを読む様子



児童が書いたカード

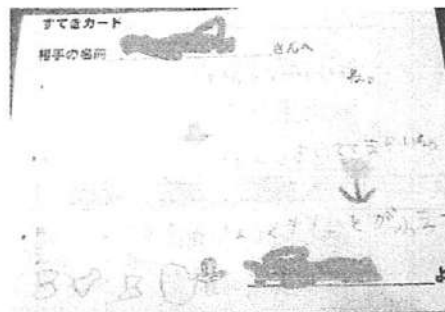
○席替えを行う目的とすてきカードの関連づけ

席替えの目的は、「近くなった友達を知ったり、仲良くなったりすること」であり、「これから約1ヶ月過ごす中で隣の席の友達の良いところを見つけよう」と伝え実施した。

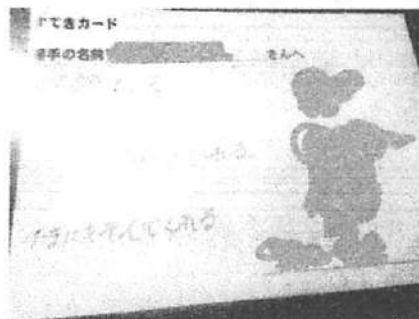
○活動の変遷と様子

活動初期は、「やさしいね」「おもしろいね」「絵が上手いね」など良いところが抽象的であった。次第に「当番の仕事を頑張っているね」「発表や挨拶の声が大きい」「算数の時間に教えてくれたね」「身だしなみが整っている」など、日常の中にある価値に目を向ける視点が育っていった。また、カードの中には「ありがとう」や「すごいね」といった感謝・称賛の言葉が含まれ、言葉を通じた関係づくりが促進されている様子が見られた。自分の頑張りが認められたことで「またがんばろう」と前向きな気持ちになる児童が見られた。「字が上手いね。」と褒められた児童は、「もっともっと上手に書こう。」とほりきる様子があった。

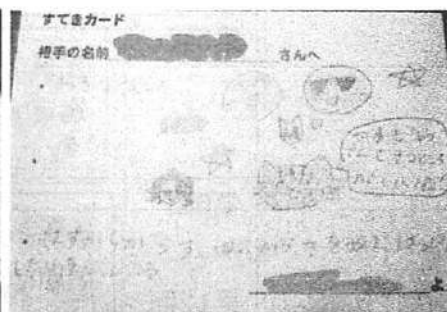
このように、良いところを見つける・伝えるという営みが、児童の他者理解や関係の肯定的なとらえ直しにつながっており、「自分も誰かの役に立てている」「自分にも価値がある」という自己肯定感の育成にもつながっていると考えられる。



友達の変容について書かれたもの



友達がしてくれたことが書いてある



オリジナルイラストや吹き出し

③クラス会議(学級会活動)

クラス会議は、学級生活での困りごとや願い、個人の悩みをテーマに、児童同士が対等な立場で話し合い、解決策を考える活動である。児童が自分たちの手で学級をよりよくしようとする「自治的な経験」を通して、主体性・協働性・自己有用感を高めることをねらいとした。会議の進行は児童に任せ、司会・副司会・記録係などの役割は立候補制とした。初回は発言が一部の児童に偏っていたが、『グッド&ニュー』や『すてきカード』などの取り組みにより、「話すこと」「受け止めること」が学級文化として根付き始めていたため、2回目以降は多くの児童が発言に加わるようになった。また、「この前の話し合いで決まったことをやってみたら、うまくいった!」という声も聞かれ、話し合いが現実の学級生活とつながる経験として定着してきている。クラス会議は単なる話し合い活動ではなく、「自分の思いや願いを出す」「仲間の考えに耳を傾ける」「よりよい方法を共に考える」経験を通して、児童の協働性と自己決定感を高める重要な場となっている。

○クラス会議年間計画

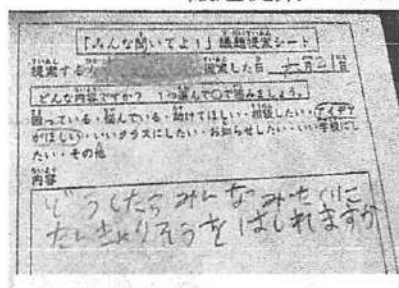
回	議題・役割	解決策
第1回	議題「運動会を成功させるには？」 司会、副司会、書記:担任	みんなで協力 メリハリ 競技を最後まで頑張る
第2回	議題「どんな学級にする?○○な学級」 司会:学級委員 副司会:学級委員 書記:担任	約束を守り 元気でいじめのない ニコニコな学級
第3回	議題 「楽しいカンドゥー(校外学習)にするには？」 司会:児童(立候補) 副司会:児童(立候補) 書記:担任	人の話を聞き、仲良く、 ルールを守って、 カッチン(お金)を大切に使う
第4回	議題「夏休みを楽しく過ごすには？」 司会:児童(立候補) 副司会:児童(立候補) 黒板書記2名:児童(立候補) ノート書記:児童(立候補)	「こうゆうすいか」に気をつけて、 あんぜんに過ごす
第5回	児童が書いた議題提案シートから議題を選定する。	話し合いを通じて 解決策を考える。
第6回 ～ 第12回	議題箱の中から学級委員を中心に 議題を選定する。	話し合いを通じて 解決策を考える。

○議題募集の仕方と決定方法について

第1回目～4回目までは、担任が議題を発案し決定した。

5回目は、議題提案シートの書き方を説明し、全児童から議題を募る。そして、学級の課題で緊急で優先順位の高いと思われるものを三つ選び、学級委員が議題を決定する。6回目以降は、議題箱を設置し、出てきたものから選んでいく。児童自身が感じた問題をもとに話し合いを行う。10回目では、個人の悩みを扱いたい。そのためには、教室が児童にとって安心・安全の場であり、課題の解決策を主体的に話し合う事を積み重ねていく。

＊議題提案シートは昨年度実施の資料。今年度も実施予定。



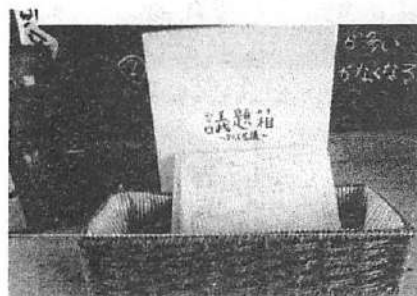
議題提案(個人の悩み)



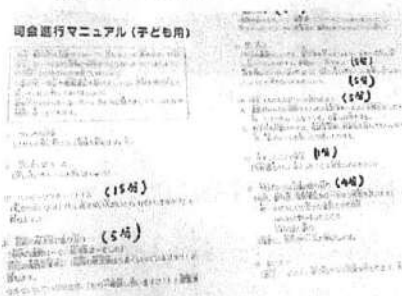
議題提案(計画したいこと)



議題提案(学級の課題)



学級に設置している議題箱



司会進行マニュアル



クラス会議を進行している様子

○役割と決定方法

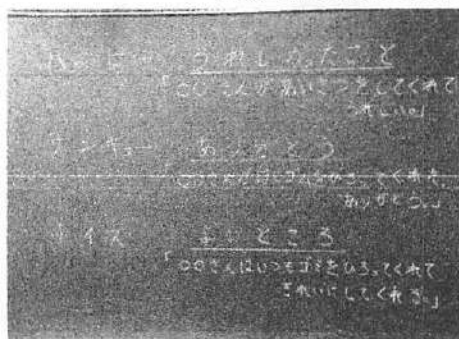
クラス会議には、以下の役割を設けた。

- ①司会(1名)・・・クラス会議を進行する。
- ②副司会(1名)・・・司会のサポートをする。
- ③黒板書記(2名)・・・提案理由や出た意見など必要なことを黒板に書く。
- ④ノート書記(1名)・・・黒板に書かれたことや役割などをノートに記録する。

これらの役割をクラス会議の1回目は、全て担任が行い示した。2回目は、司会、副司会を学級委員が行った。その際に、司会進行マニュアルを活用することで、児童は安心して進行することができていた。3回目は、立候補した児童が司会と副司会を行った。クラス会議前日の帰りの会で立候補を募り、7名の挙手があった。4回目以降は、全ての役割を立候補した児童が行った。このように段階的に児童に任せて、児童自らクラス会議を進めていけるようになった。

○クラス会議の冒頭で行うハッピーサンキューナイスについて

輪になり、順番にハッピー(嬉しかったこと)、サンキュー(感謝したいこと)、ナイス(良いところ)を発表していくアイスブレイク。教室がポジティブで温かい雰囲気になりその後の話し合いがしやすくなるものである。15分間で2巡程度まわっていた。パスはしてもよく、1回目は、1巡でパスが半数いたが、2巡目でクラスの7割が言うことができた。1巡目を聞いて、家族や友達への感謝、買ってもらったものや、教えてくれたことなど日常の事を言えば良いと分かったことが言えることにつながっていた。2回目は、8割の児童が言うことができた。3回目は、9割であった。「〇〇君と放課後遊んだのが楽しかった。」と名前が出た児童は、「自分も。」と嬉しそうに反応していた。



ハッピーサンキューナイスの例示



ハッピーサンキューナイスの様子



自己開示をしている場面

○会議の具体

～第3回クラス会議「楽しい校外学習にするには？」～

3回目のクラス会議のテーマは、校外学習を1週間後に控え、担任が提案した。まず、全体で一つの輪を作った。そして、1、2回目と同様、フルーツバスケットを2回行い席替えをした。この席替えが、普段

交流が少ない児童が席が近くなったり、同じグループになったりして新たな交流を生むことにつながる。冒頭のハッピーサンキューナイスでは、1巡目から8割児童が自己開示し、2巡目を終えると、9割児童が自己開示し、拍手や頷きもあり、温かい雰囲気で始まった。クラス会議の時は、担任は基本遮らない、見守る事をしている。しかし、傷付ける発言や行為があった時は、止めて叱る事を事前に伝えている。さらに、話の聞き方(目線、相槌、拍手、頷き)は意識していこうと毎回のクラス会議で伝えている。複数児童から、「目を合わせよ。」「切り替えるよ。」と話の聞き方に関して、呼びかけがあり、人の話を大事にしていこうとする意識が見られた。次に、前回の振り返りをした。6月末までに目指す学級の姿と現状を振り返り、司会が「うまくいってますか。」と投げかけた。ここで、議題提案者が再審議かを決めるが、提案者が担任だったので、「良い状態なので継続していこう」とした。児童からも「良いと思う。」や頷きなどの肯定的な反応が見られた。



グループの話し合い場面



課題の解決策を話し合う場面

本題に入ると、司会が4人グループで5分間の話し合いを指示した。副司会も時間の提案やタイマーをセットするなどサポートしていた。グループ協議では、円を作り、各グループ進行役が自ら名乗り出て、話し合っていた。グループの人数は丁度良く、全員が話し合いに参加していた。「私は、仲間を大切にしたい。」「ルールを守るのが大切。」「1人1人の意見に拍手や頷き、メモをとりまとめる児童もいた。グループ協議に関しては、1、2回目と4人グループで行ってきている以外は、特段ルールを設けていない。それが、自分達の話しやすい体形づくり、進行役の出現、メモを書く子もいれば、みんなの意見を聞きまとめようとする子が表れたと考える。そして、自分達ごとのテーマ設定と、自己開示を行ってからの安心感、解決策を自分達で決めて、振り返るというサイクルが構築されてきたのだと考える。その後、各グループで出た意見を発表した。1グループがまとまってなく、発表の際に戸惑っていたが、司会が近くまでいき、話し合いの時間が必要か自分の意見として1人の意見を発表しても良い事を確認していた。それぞれ出た意見にキーワードがあったため、繋げてクラスとしての解決策とした。自分達で決めた事の高揚感や反応が見てとれた。振り返りでは、司会の児童が「みんなから意見が出てよかった。」副司会の児童が「解決策を決めることができてよかった。」と発言し、拍手が起きた。



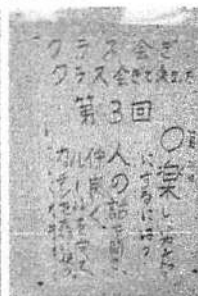
司会、副司会の振り返り場面



第3回クラス会議の黒板記録



黒板記録



学級掲示物

7.研究の成果(○)と課題(●)

- 自己開示の場を設定することで教室が自分のことを安心して話せる場所になってきている。
また、『グッド&ニュー』の活動を継続して行うことで、自己開示することを楽しみにしたりする様子が見られたり、自己開示できていなかった児童が自己開示をすることができたりした。
- クラス会議で、議題を話し合う前に自己開示の場があることで、安心感をもつことができ、課題の解決策の活発な話し合いに繋がっていた。
- 『すてきカード』では、相手のよいところに目を向けるだけでなく、児童の感想に、「自分では気づかない自分の良さに気づくこと」や「自分の良さを知ってもらえたことが嬉しい」などの記述があることから、自分の良さを感じ、捉える一助になっていた。
- 活動実施3ヶ月で、アンケート中の「今の自分がすきだ」の項目に上昇が見られた。理由の中に、「友だちと話をするのが幸せだから」や「みんなが優しくしてくれて、できるって思えば何でもできるから。」と他者との繋がりを挙げる記述が見られた。活動を継続する事で自己肯定感の高まりに期待できる。年間を通した実践、さらなる検証が必要である。

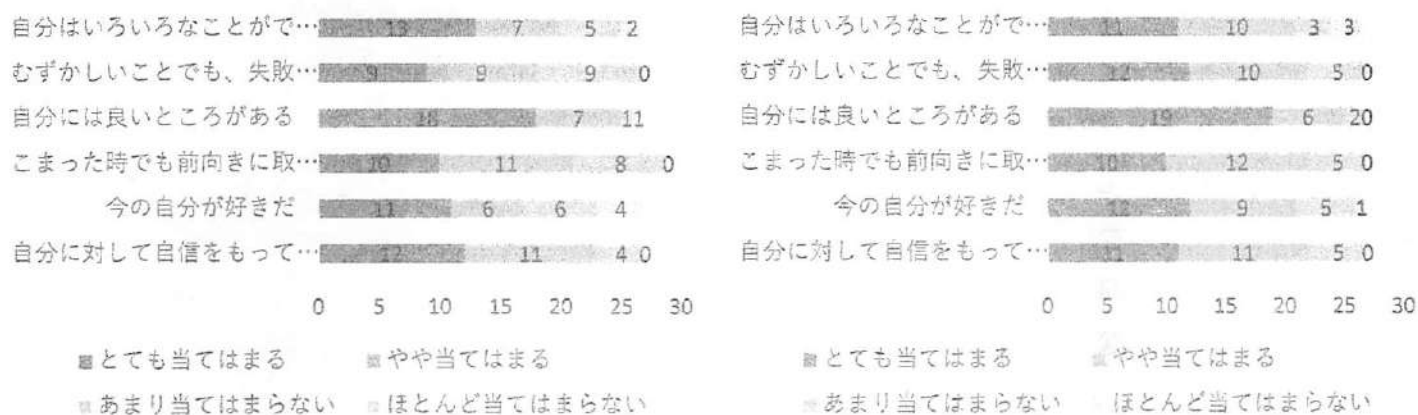
○自己開示をして、それを受け止める相手がいることで安心感をもち、ありのままの自分で良いと、自己肯定感を高めることになる。そのため、自己肯定感を高めるには、他者の存在、関わりが重要であることがわかった。

●どの活動も繰り返し行なっていく中で、マンネリ化が見られ、ただこなすだけ、作業化することがあった。マンネリ化する前に目的に立ち返り、手立てを講じる必要があった。

●児童の個人差があり、学級全体の前になると、自己開示や意見を述べるのに消極的な場面が見られた。

●「今の自分が好きだ」に否定的な児童の理由に、「忘れ物が多い」や「できないことがあるから」があった。教師の姿勢や関わり方は、児童の安心感や自己肯定感に影響を与える。事象を肯定的に捉えて投げかけ、接するなど教師の在り方が今後ますます重要である。

自分のことアンケート結果グラフ



(1回目令和7年度5月20日実施 27/30名実施)

(2回目令和7年度7月10日実施 27/30名実施)

8.参考文献

<参考文献>

・深見太一(著)

『対話でみんながまとまる！たいち先生のクラス会議』学陽書房 2020年

・赤坂真二(編著)

『いま「クラス会議」がすごい！』学陽書房 2014年

・文部科学省/国立教育政策研究所 教育課程研究センター(著)

『みんなで、よりよい学級・学校生活をつくる特別活動(小学校編)』文溪堂 2019年

<参考資料>

・千葉県教育委員会『第3期千葉県教育振興基本計画「次世代へ光り輝く『教育立県ちば』プラン」』(令和2年2月)

資料編

【資料1】自分のことに関するアンケート結果	P1-2
【資料2】自分のことアンケート(7月10日実施)項目[3]今の自分が好きだ理由	P3
【資料3】グッド&ニューに取り組んでいる様子	P4
【資料4】グッド&ニューのアンケート結果	P4-5
【資料5】すてきカードに取り組んでいる様子(令和6年度実施)	P6
【資料6】児童が書いたすてきカード(令和6年度実施)	P6
【資料7】すてきカード活動継続後の変遷(令和6年度実施)	P6
【資料8】年度末にまとめた自分のすてき(令和6年度実施)	P7
【資料9】すてきカードに取り組んでいる様子(令和7年度実施)	P7
【資料10】児童が書いたすてきカード(令和7年度実施)	P8
【資料11】クラス会議マニュアル	P8
【資料12】第1回クラス会議の記録	P9
【資料13】第2回クラス会議の記録	P9
【資料14】第3回クラス会議の記録	P10
【資料15】第4回クラス会議の記録	P11
【資料16】グッド&ニューの感想	P12
【資料17】すてきカードの感想	P13-14
【資料18】クラス会議の感想	P15

【資料1】自分のことに関するアンケート結果

アンケート結果から 自分のことアンケート(令和7年度5月20日実施 27/30名実施)

	とても当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	ほとんど当てはまらない
自分に対して自信をもっている	11	12	4	0
今の自分が好きだ	11	7	5	4
こまった時でも前向きに取り組む	9	10	8	0
自分には良いところがある	18	7	1	1
むずかしいことでも、失敗をおそれないでしようとする	9	9	9	0
自分は何かなにかができる	13	7	5	2

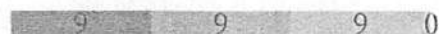
アンケート結果

↑上昇

自分はいろいろなことができる



むずかしいことでも、失敗をおそれないでしようとする



自分には良いところがある



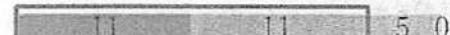
こまった時でも前向きに取り組む



今の自分が好きだ



自分に対して自信をもっている



0 5 10 15 20 25 30
 ■とても当てはまる ■やや当てはまる ■あまり当てはまらない ■ほとんど当てはまらない

↓減少

(1回目令和7年度5月20日実施 27/30名実施)

(2回目令和7年度7月10日実施 27/30名実施)

自分のことに関するアンケート(令和7年度5月20日実施)27名/30名

	とても当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	ほとんど当てはまらない
[1]自分にたいして自信をもっている	12	11	4	0
[2]自分自身にまんぞくしている	10	12	4	1
[3]今の自分がすきだ	11	6	6	4
[4]自分には人と同じくらいのうりよくがある	6	15	6	0
[5]自分の思ったことをはっきりと言う	8	12	5	2
[6]こまった時でも前向きにとりくむ	10	11	6	0
[7]自分にはよいところがある	18	7	1	1
[8]むずかしいことでも、失敗をおそれないでしようせんする	9	9	9	0
[9]友だちの前で自分の考えや意見を発表することはとくいである	8	7	12	0
[10]自分はいろいろなことができる	13	7	5	2
[11]自分はいろいろといい考えが思いつく	13	10	3	1
[12]自分のおうちの人から愛されている(大切にされている)と思	20	4	3	0
[13]毎日を楽しいとかんじる	18	3	6	0
[14]自分がんばることができる	19	5	2	1

自分のことに関するアンケート(令和7年度7月10日実施)27名/30名

	とても当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	ほとんど当てはまらない
[1]自分にたいして自信をもっている	11	11	5	0
[2]自分自身にまんぞくしている	13	9	3	2
[3]今の自分がすきだ	12	9	5	1
[4]自分には人と同じくらいのうりよくがある	9	11	5	2
[5]自分の思ったことをはっきりと言う	8	10	8	1
[6]こまった時でも前向きにとりくむ	10	12	5	0
[7]自分にはよいところがある	19	6	2	0
[8]むずかしいことでも、失敗をおそれないでしようせんする	12	10	5	0
[9]友だちの前で自分の考えや意見を発表することはとくいである	10	8	6	3
[10]自分はいろいろなことができる	11	10	3	3
[11]自分はいろいろといい考えが思いつく	15	5	4	3
[12]自分のおうちの人から愛されている(大切にされている)と思	21	3	2	1
[13]毎日を楽しいとかんじる	15	7	5	0
[14]自分がんばることができる	17	7	3	0

【資料2】自分のことアンケート(7月10日実施)項目[3]今の自分が好きだ 理由

とてもあてはまる(12人)

- ・自分がしたいことをしたいことをしたり、自由に遊んだり、みんなと仲良く遊んでいるから
- ・友だちも多いし、困っている人を助けられるから
- ・特に問題ないし、今の自分に満足だから
- ・楽しいから
- ・自分のことがちゃんとできているから
- ・みんなに遊ぼうと言われて、モテモテだから
- ・友達が多いから
- ・いろいろな事を思いつくから
- ・自分では優しいと思っているから
- ・良い家族の所へ生まれたから
- ・自分にとって良いことや運が良い時があるから

ややあてはまる(9人)

- ・勉強が好きだから
- ・自分の思い通りにできるから
- ・いろいろ頑張って挑戦するのが自分の良いところだから
- ・友だちと話をするのが幸せだと思うから
- ・かわいいから。勉強ができるから
- ・みんなが優しくしてくれて、「できる」と思って頑張れば何でもできるから
- ・優しい友達はいるけど、僕の性格は悪いから
- ・足が速いから
- ・イライラすると人に嫌な事をしてしまっただけで体にブレーキをかけられなくて少し好きではない

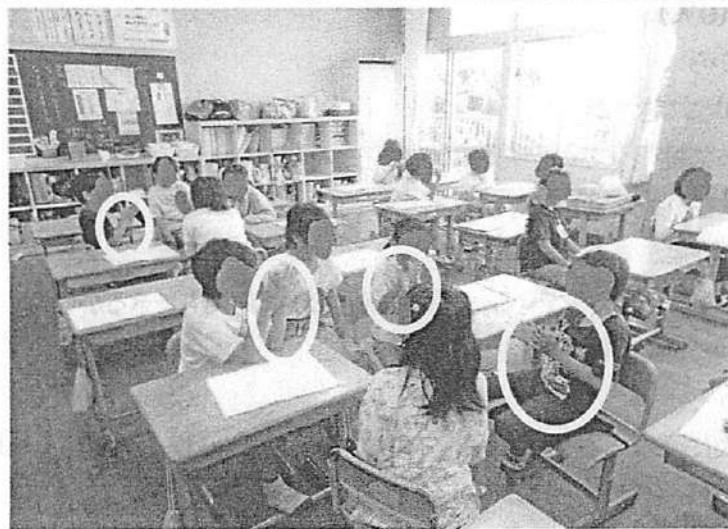
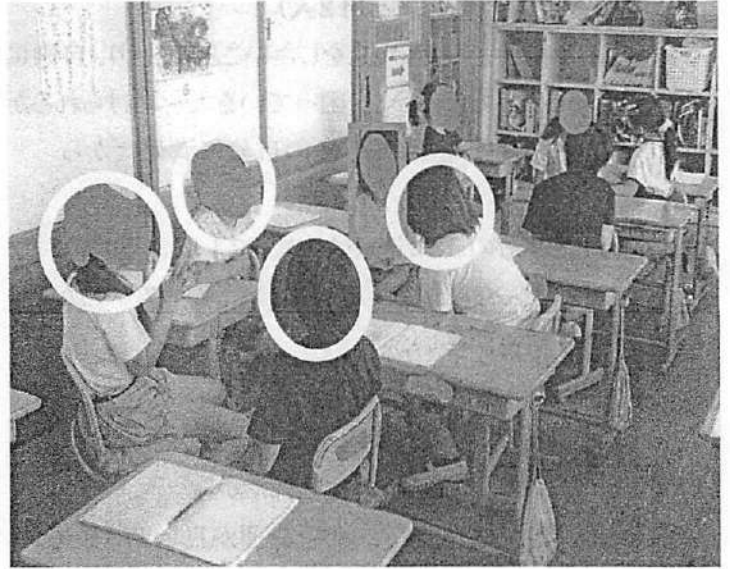
あまりあてはまらない(5人)

- ・体型が気に入らないから
- ・忘れ物が多いから
- ・お腹や体が痛くなるから
- ・できないことがあるから
- ・髪が長くて暑いから

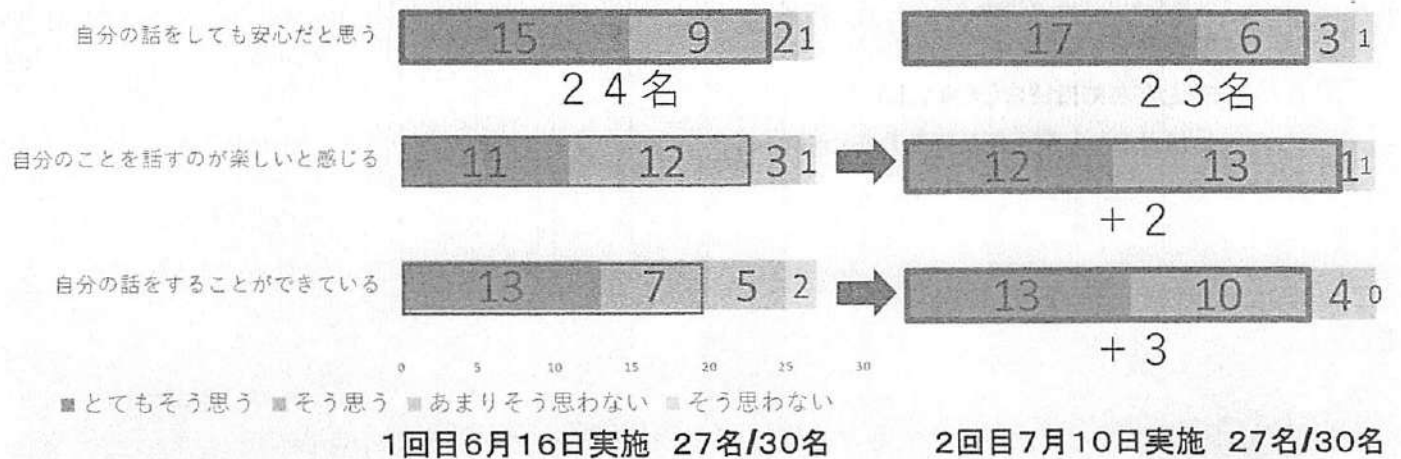
ほとんどあてはまらない(1人)

- ・お母さんとお父さんに怒られるから

【資料3】グッド&ニューに取り組んでいる様子



【資料4】グッド&ニューのアンケート結果



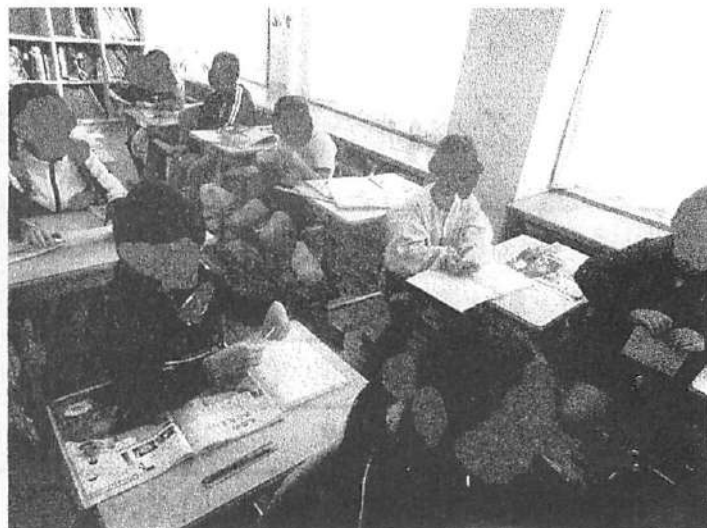
グッド&ニューアンケート(令和7年度6月16日実施) 27名/30名

	とてもそう思う	そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
[1]自分の話をすることができている	13	7	5	2
[2]自分のことを話すのが楽しいと感じる	11	12	3	1
[3]話をしている時に、みんなが聞いてくれると感じる	16	9	1	1
[4]朝の会で話をするのが楽しみだ	10	10	5	2
[5]友達の話になぜいたり、はんのうしたりしている	15	8	3	1
[6]自分とにたけいけんを友達の話から感じることもある	6	12	7	2
[7]クラスの友達のことを前よりもよく知れたと思う	15	8	3	1
[8]自分の話をしても安心だと思う	15	9	2	1
[9]自分のいいところに気づけるようになってきた	11	9	6	1
[10]「ありがとう」や「いいね」と声をかけたことがある	9	11	5	2
[11]もっと話をしたいと思うことがある	11	11	4	1

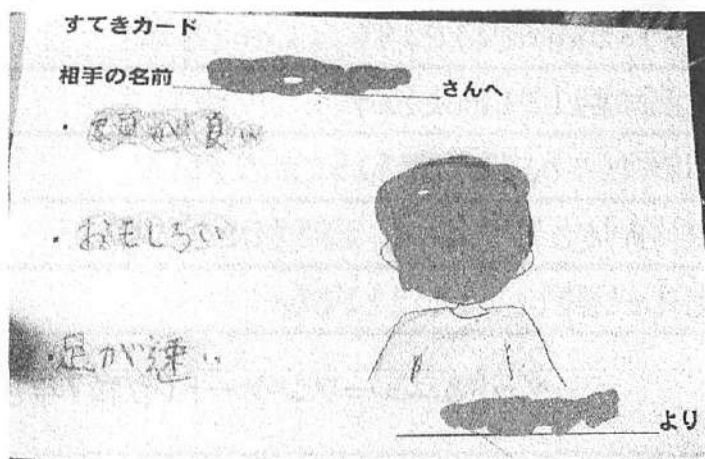
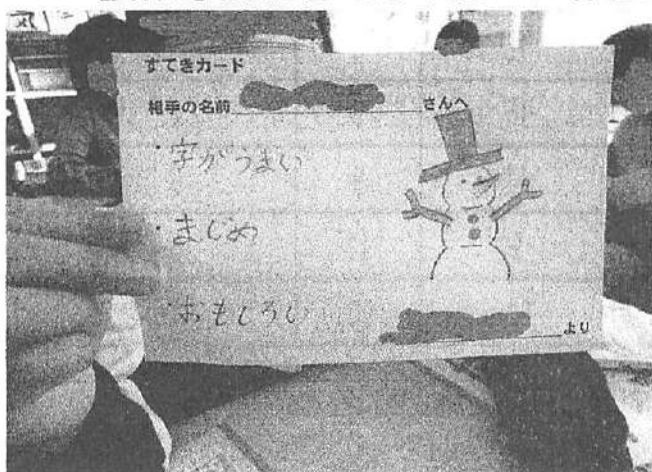
グッド&ニューアンケート(令和7年度7月10日実施) 27名/30名

	とてもそう思う	そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
[1]自分の話をすることができている	13	10	4	0
[2]自分のことを話すのが楽しいと感じる	12	13	1	1
[3]話をしている時に、みんなが聞いてくれると感じる	14	8	3	2
[4]朝の会で話をするのが楽しみだ	9	10	7	1
[5]友達の話になぜいたり、はんのうしたりしている	13	9	3	2
[6]自分とにたけいけんを友達の話から感じることもある	9	7	6	5
[7]クラスの友達のことを前よりもよく知れたと思う	16	6	4	1
[8]自分の話をしても安心だと思う	17	6	3	1
[9]自分のいいところに気づけるようになってきた	12	5	9	1
[10]「ありがとう」や「いいね」と声をかけたことがある	10	9	6	2
[11]もっと話をしたいと思うことがある	11	8	6	2

【資料5】すてきカードに取り組んでいる様子(令和6年度実施)

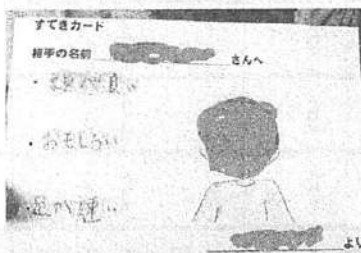
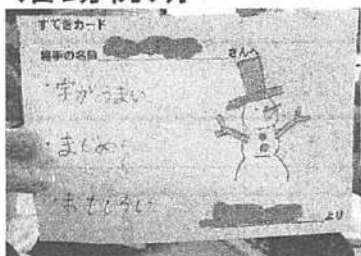


【資料6】児童が書いたすてきカード(令和6年度実施)

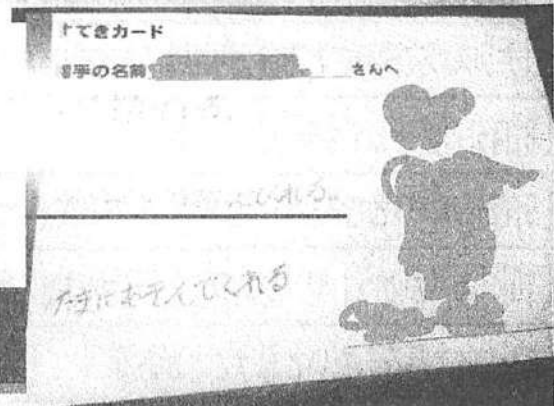
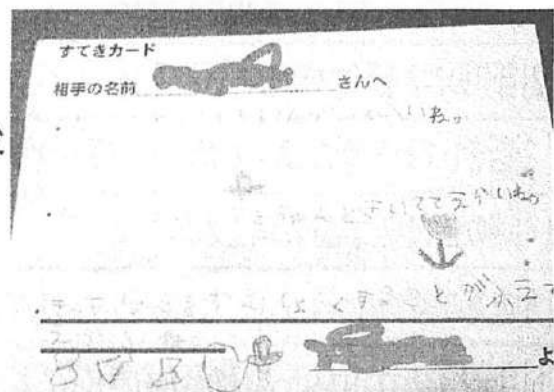


【資料7】すてきカード活動継続後の変遷(令和6年度実施)

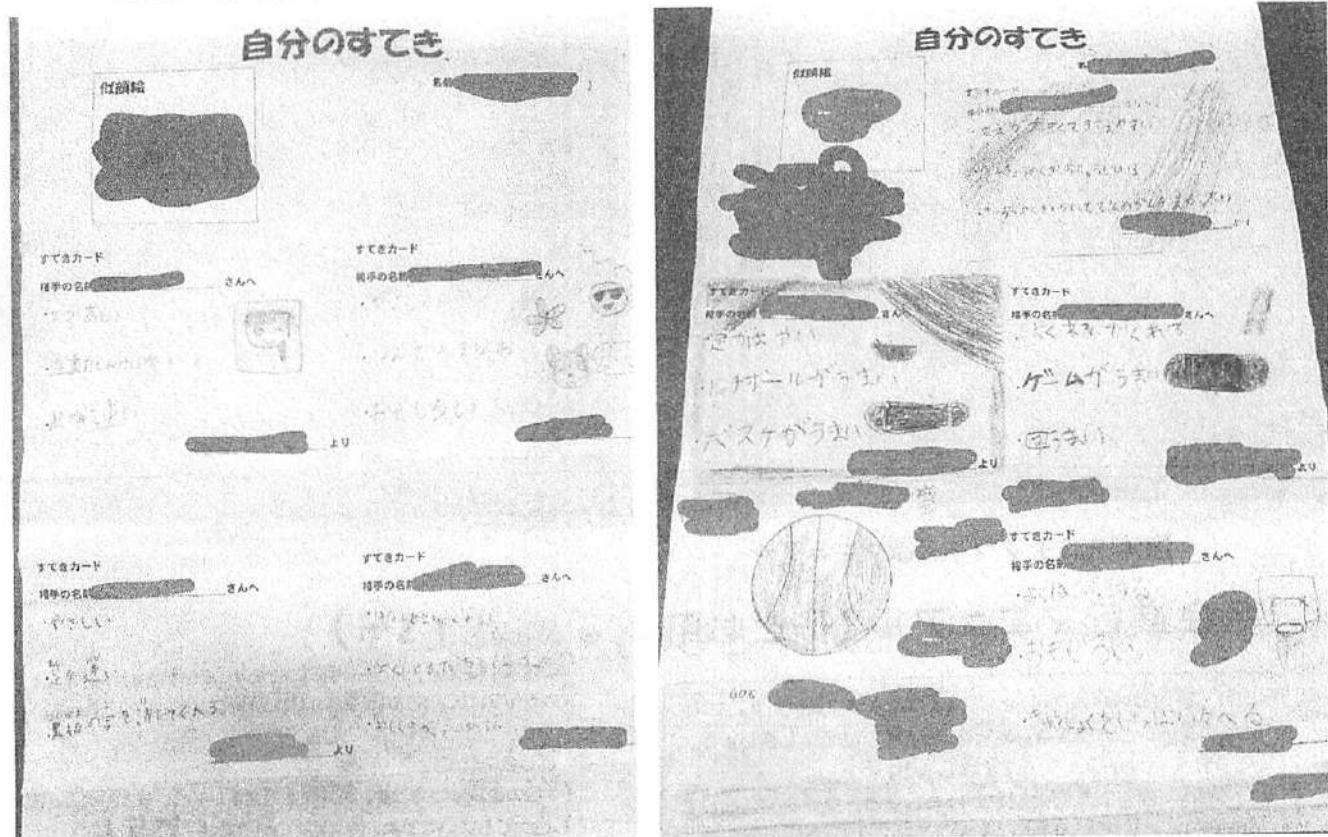
活動初期



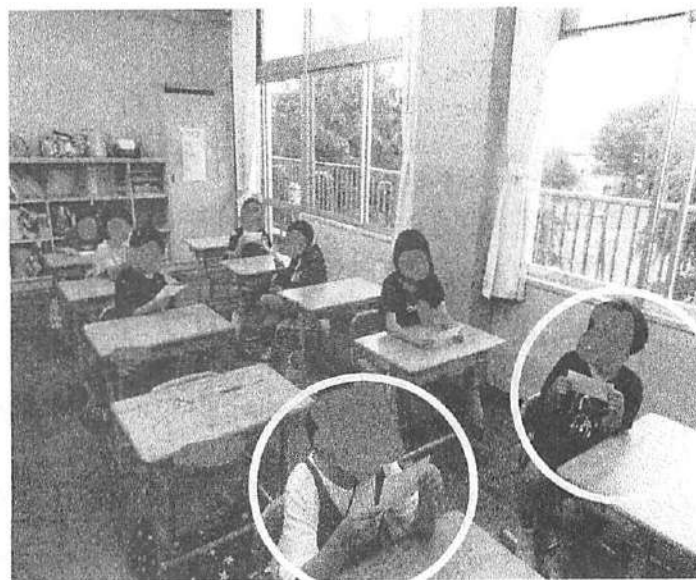
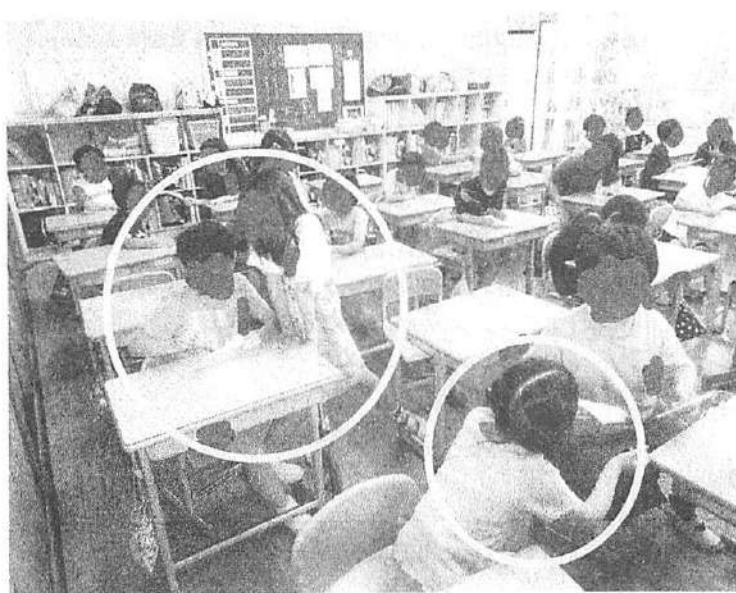
活動継続後



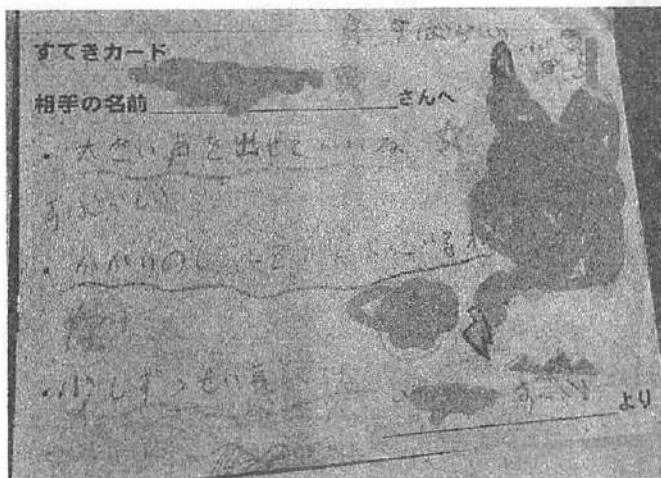
【資料8】年度末にまとめた自分のすてき（令和6年度実施）



【資料9】すてきカードに取り組んでいる様子（令和7年度実施）



【資料10】児童が書いたすてきカード（令和7年度実施）



【資料11】クラス会議マニュアル

司会進行マニュアル（子ども用）

司会・副司会は会議がスムーズに流れるように進めます。10秒
、シーンという沈黙の時間をつくらないようにしましょう。
いつもみんなを見てみましょう。
司会・副司会・司会や黒板書記を助けましょう。意見を聞き選んで
選んでいたら教えてあげましょう。
進め方がわからなくなったら、みんなに聞きましょう。みんなが
相談に乗ってくれます。

① はじめの言葉

「これから第〇回クラス会議を始めます。礼」

② 話し合いのルール

「話し合いのルールを言いましょう」

③ ハッピーサンキューナイス

(15分)

「私から言います」(もし言えない人がいたら「パスしますか?」と
尋ねます。)

④ 前回の解決策の振り返り

(5分)

「前回の議題は～で、解決策は～でした」

前回の議題提案者に「前回の解決策はうまくいっていますか?」と
尋ねます。

うまくいっていなければ、「もう一度話し合いますか?」と提案者
に尋ねます。

⑤ 議題の提案 (5分)

「議題を読みます。～」提案者に「つけたすことはありませんか?」、
次はみんなに「〇〇さん(提案者)に質問はありませんか?」と尋ねる。

⑥ 話し合い

「今日の議題は〇〇です。解決策を考えましょう。まわりの人と話
し合ってもいいですよ。時間は、〇分です。」(5分)
話を聞いていない人がいたら「話し合いのルールを思い出しま
しょう」と声かけしてみましょう。(5分)

⑦ 決定 (AからBどちらかを選びます。) (5分)

- A 議題がみんなに関係するときは多数決をします。[多数決をします]
例：クラスのルールをつくる。お楽しみ会をする。
B 個人的な問題のときは、議題提案者に解決策を選んでもらいます。
例：弟がゲームを隠したり壊したりする。

⑧ 決まったことの発表 (1分)

「黒板書記さん、決まったことを発表してください」

⑨ 今日のクラス会議の振り返り (4分)

「司会、副司会、黒板書記から一言ずつ感想を言います」

例：すばらしいと思った意見とその理由

みんなのがんばったところ

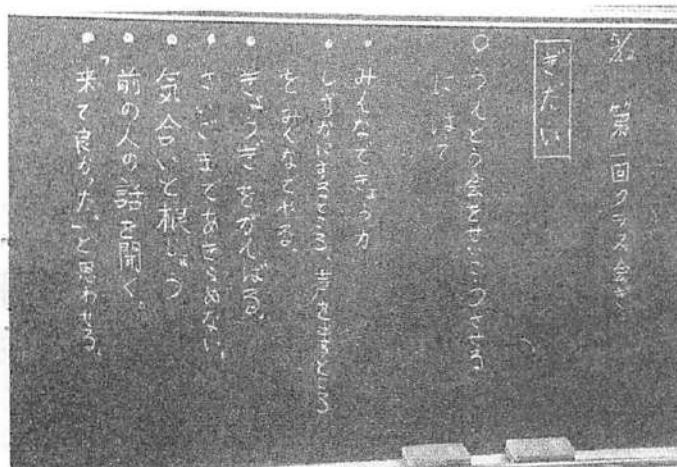
今日の振り返り

「最後に、先生から一言お難いします」

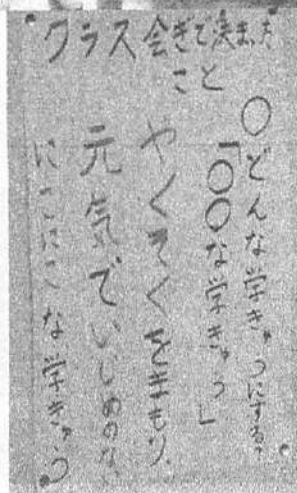
⑩ あいさつ

「起立! これで、第〇回クラス会議を終わります。礼!!」

【資料12】第1回クラス会議の記録



【資料13】第2回クラス会議の記録



【資料14】第3回クラス会議の記録

議題「楽しい校外学習にするには？」

3～4人グループ



各々の体形



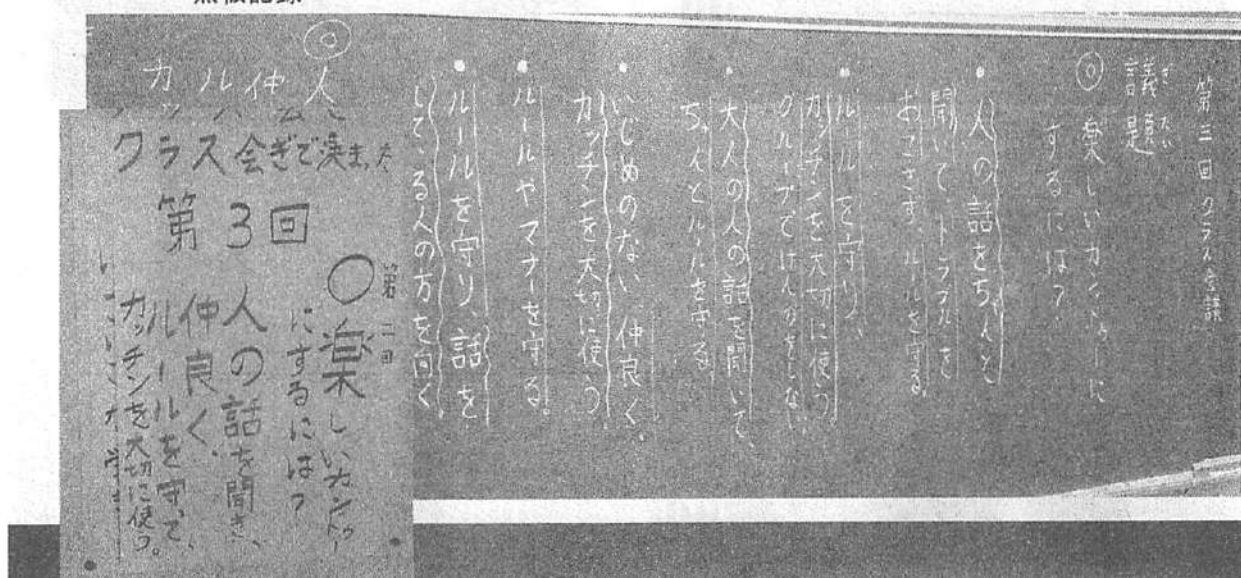
振り返り



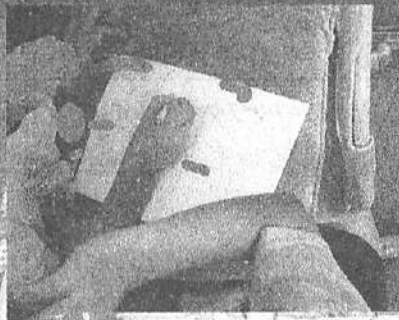
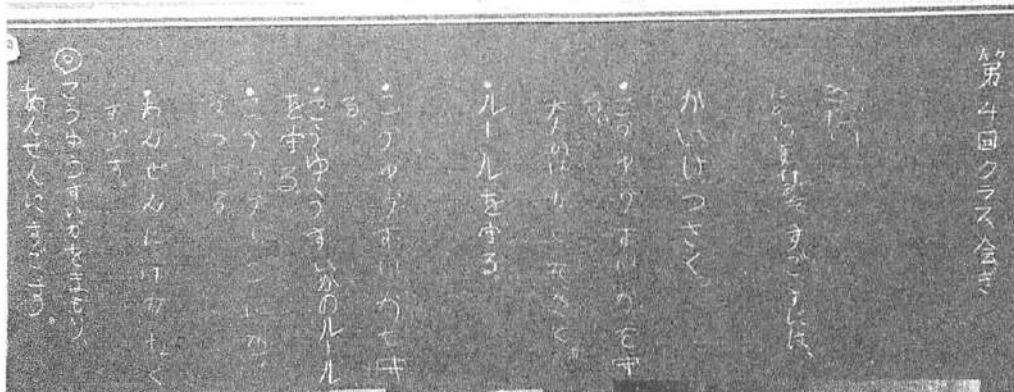
拍手



黒板記録



【資料15】第4回クラス会議の記録



クラス会議で決めた
第4回
楽しい夏休みを
すごすには？
「こつゆすいかた
気をつけ、
あんぜんにすごす。」

す	か	する	する	ル	守	す
に	い	る	る	ル	り	す
は	け	太	太	ル	あ	す
	つ	人	人	ル	ん	す
	さ	の	の	を	ご	す
	く	話	話	守	う	す
		を	を	る	ゆ	す
		聞	聞	る	う	す
		く	く	る	す	す
				る	り	す
				る	あ	す
				る	ん	す
				る	ご	す
				る	す	す
				る	り	す
				る	あ	す
				る	ん	す
				る	ご	す
				る	す	す
				る	り	す
				る	あ	す
				る	ん	す
				る	ご	す
				る	す	す
				る	り	す
				る	あ	す
				る	ん	す
				る	ご	す
				る	す	す
				る	り	す
				る	あ	す
				る	ん	す
				る	ご	す
				る	す	す
				る	り	す
				る	あ	す
				る	ん	す
				る	ご	す
				る	す	す
				る	り	す
				る	あ	す
				る	ん	す
				る	ご	す
				る	す	す
				る	り	す
				る	あ	す
				る	ん	す
				る	ご	す
				る	す	す
				る	り	す
				る	あ	す
				る	ん	す
				る	ご	す
				る	す	す
				る	り	す
				る	あ	す
				る	ん	す
				る	ご	す
				る	す	す
				る	り	す
				る	あ	す
				る	ん	す
				る	ご	す
				る	す	す
				る	り	す
				る	あ	す
				る	ん	す
				る	ご	す
				る	す	す
				る	り	す
				る	あ	す
				る	ん	す
				る	ご	す
				る	す	す
				る	り	す
				る	あ	す
				る	ん	す
				る	ご	す
				る	す	す
				る	り	す
				る	あ	す
				る	ん	す
				る	ご	す
				る	す	す
				る	り	す
				る	あ	す
				る	ん	す
				る	ご	す
				る	す	す
				る	り	す
				る	あ	す
				る	ん	す
				る	ご	す
				る	す	す
				る	り	す
				る	あ	す
				る	ん	す
				る	ご	す
				る	す	す
				る	り	す
				る	あ	す
				る	ん	す
				る	ご	す
				る	す	す
				る	り	す
				る	あ	す
				る	ん	す
				る	ご	す
				る	す	す
				る	り	す
				る	あ	す
				る	ん	す
				る	ご	す
				る	す	す
				る	り	す
				る	あ	す
				る	ん	す
				る	ご	す
				る	す	す
				る	り	す
				る	あ	す
				る	ん	す
				る	ご	す
				る	す	す
				る	り	す
				る	あ	す
				る	ん	す
				る	ご	す
				る	す	す
				る	り	す
				る	あ	す
				る	ん	す
				る	ご	す
				る	す	す
				る	り	す
				る	あ	す
				る	ん	す
				る	ご	す
				る	す	す
				る	り	す
				る	あ	す
				る	ん	す
				る	ご	す
				る	す	す
				る	り	す
				る	あ	す
				る	ん	す
				る	ご	す
				る	す	す
				る	り	す
				る	あ	す
				る	ん	す
				る	ご	す
				る	す	す
				る	り	す
				る	あ	す
				る	ん	す
				る	ご	す
				る	す	す
				る	り	す
				る	あ	す
				る	ん	す
				る	ご	す
				る	す	す
				る	り	す
				る	あ	す
				る	ん	す
				る	ご	す
				る	す	す
				る	り	す
				る	あ	す
				る	ん	す
				る	ご	す
				る	す	す
				る	り	す
				る	あ	す
				る	ん	す
				る	ご	す
				る	す	す
				る	り	す
				る	あ	す
				る	ん	す
				る	ご	す
				る	す	す
				る	り	す
				る	あ	す
				る	ん	す
				る	ご	す
				る	す	す
				る	り	す
				る	あ	す
				る	ん	す
				る	ご	す
				る	す	す
				る	り	す
				る	あ	す
				る	ん	す
				る	ご	す
				る	す	す
				る	り	す
				る	あ	す
				る	ん	す
				る	ご	す
				る	す	す
				る	り	す
				る	あ	す
				る	ん	す
				る	ご	す
				る	す	す
				る	り	す
				る	あ	す
				る	ん	す
				る	ご	す
				る	す	す
				る	り	す
				る	あ	す
				る	ん	す
				る	ご	す
				る	す	す
				る	り	す
				る	あ	す
				る	ん	す
				る	ご	す
				る	す	す
				る	り	す
				る	あ	す
				る	ん	す
				る	ご	す
				る	す	す
				る	り	す
				る	あ	す
				る	ん	す
				る	ご	す
				る	す	す
				る	り	す
				る	あ	す
				る	ん	す
				る	ご	す
				る	す	す
				る	り	す
				る	あ	す
				る	ん	す
				る	ご	す
				る		

7月 11日実施 3年2組 27名

好き(11人)

- ・たったの1分30秒を毎日やっているから班の子のことが、毎日わかるからこの活動は好き。
- ・グループで話し合えるから。
- ・グループのしたことを知ることができて楽しい。
- ・クラス会議と同じように自分のことをよく知ってもらえたり、相手のこともよく知ったりすることができていいなと思います。
- ・自分のことを安心して話せる。
- ・みんなの夜ごはんとかを知ることができて楽しい。
- ・みんなのことをよく知ることができるから。
- ・人が、何をしたのかワクワクするから好きです。
- ・お友だちが「昨日〇〇をしたから楽しかったです。」と話すので、こんなことをしたんだなと思います。
- ・昨日の夜ご飯や好きな食べ物を教えられるから。

どちらかといえば好き(14人)

- ・考えて話すのが楽しい。
- ・グループの人のしたこととか聞くのが楽しみ。
- ・みんなの好きな遊びとかを知って、もっと友だちになりたいなと思いました。
- ・友だちの学んだことや好きなことを知ることができるから。
- ・3人だから恥ずかしくないから。

あまり好きではない(1人)

- ・あまり思いつかない。
- ・いつも班のみんなで班長から言うんですけど、あんまり言えてない人や言っていない人がいてちょっぴり嫌です。

好きではない(1人)

【資料17】すてきカードの感想

7月11日(令和7年度)実施 3年2組 27名

好き(14人)

- ・自分のことをよく見てくれているなと思い、嬉しい気持ちになるからいいなと思います。
- ・自分のよいところを言われて「これからもっと続けよう」と思いました。
- ・となりの子は、わからないことを教えてくれるし、頭がいいから。
- ・まだぜんぜん話したことがない子と友だちになれるから好きです。
- ・席替えをすると違うお友だちになれるから。

どちらかといえば好き(7人)

- ・相手の良いところを見つける力がつきました。
- ・相手の良いところを見つけるのが楽しいです。
- ・相手の良いところを書く時が楽しいです。
- ・相手の良いところを見つけられて、自分の良いところを教えてくれるからいいなと思います。
- ・相手の良いところを書くと、相手も自分の良いところを見つけてくれるからです。
- ・渡された時が嬉しい。
- ・席替えが楽しいから。
- ・席替えをする時、ワクワクする。

あまり好きではない(6人)

- ・あまり思いつかないから。
- ・友だちの良いところを3つさがさないといけないから。
- ・ちょっとしか言えないし、友だちの良いところは、ちょっとしか見たことがないし、恥ずかしいから。

好きではない(0人)

すてきカードの感想

3月13日(令和6年度)実施 4年2組 23名

好き(10人)

- ・友だちが自分の良いところを見つけてくれて嬉しい。
- ・ちょっと照れるけれど、相手が笑ってくれてこっちも嬉しくなる。
- ・相手を書いた自分の良いところを知れるのが好き。
- ・友だちがこんなことを書いてくれて嬉しかった。
- ・楽しいし、となりの人の良いところを見つけるのが好き。
- ・楽しいし、その人と仲良くなれる。
- ・その場で交換し合うのが楽しい。
- ・1ヶ月となりにいたので良いところがたくさんある。
- ・相手の良いところを書くから。
- ・友だちが近いと嬉しい。
- ・考えるのが少し難しい。

どちらかといえば好き(10人)

- ・相手が自分の良いところを見つけてくれるのが嬉しい。
- ・良いところを相手に教えてあげるとスッキリする。
- ・となりになると良いところがいっぱいある。
- ・相手の思っていることがわかる。
- ・友だちの良いところをどんどん見つけられてよかった。
- ・相手の良いところを見つけられるから。
- ・友だちだったらいっぱい書ける。
- ・書いて渡すのは楽しい。
- ・自分の席がどこになるのかが楽しみ。

あまり好きではない(3人)

- ・「字がきれい」ということを書いた。
- ・しゃべったことのない人ととなりになると気まずくなる。

好きではない(0人)

【資料18】クラス会議の感想

7月 11日実施 3年2組 27名

好き(13人)

- ・グッドアンドニューは、班の子のことしか聞けないけれど、クラス会議は全体のことが分かるのが好きです。
- ・クラスの人々と話し合えるから好き、楽しい。
- ・みんながどんないいことがあったのかを知ることができて、楽しい。
- ・自分のことをみんなに知ってもらえる気がしたり、みんなのことをよく知ることができたりしていいなと思う。
- ・友だちの「ハッピーサンキューナイス」が聞けるから。
- ・クラス会議でできたことがたくさんあってすごいなと思いました。
- ・みんなで議題の解決方法を話し合うのが楽しい。
- ・最初にする「ハッピーサンキューナイス」が一番楽しい。
- ・自分の番になった時にドキドキする。
- ・いろいろな人のことや好きなことがわかるから。
- ・みんなの出来事を知ることができるから好きです。
- ・人が何が好きかわかるから好きです。
- ・みんなの出来事をたくさん知れるから。
- ・自分が友だちに言いたいことをまとめて言えるから。

どちらかといえば好き(12人)

- ・人のことを知ることができて嬉しい。
- ・みんなに話すのが楽しいです。
- ・みんなの嬉しかったことを聞くのが楽しみ。
- ・自分の意見と友だちの意見を聞いて、話をするのが楽しい。
- ・話し合って友だちの好きなことがわかるから。

あまり好きではない(2人)

- ・恥ずかしいし、順番がまわってきたら恥ずかしくていえなくなるから。

好きではない(0人)